

平成22年 9 月 27 日

お知らせ

資料提供先

三次記者クラブ

尾道松江線で新たにトンネルが貫通します

～三刀屋木次ICから三次JCT・ICまでの区間で残る未貫通トンネルは6本に～

国土交通省三次河川国道事務所が建設を進めている中国横断自動車道尾道松江線で、麻志トンネル（全長1,329m）が新たに貫通します。

麻志トンネルが無事貫通したことを祝して、貫通式が下記日時・場所で開催されます。

尾道松江線のうち、三刀屋木次ICから三次JCT・ICまでの区間には、14本のトンネルが計画されており、今回の麻志トンネル貫通により、未貫通のトンネルは6本を残すのみとなり、半数を超えるトンネルが貫通したこととなります。

開催日時：平成22年9月29日（水）

11：00～12：00

開催場所：庄原市口和町竹地谷地内

（麻志トンネル抗内：会場までの通行経路は別紙のとおり）

その他：当日は、発破による貫通の瞬間に立ち会うことができます。

※構造物及びJCT・ICの名称は、仮称です。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長（道路担当）

石川 庄嗣

【担当】建設監督官

神田 浩

【広報担当】調査設計課長

丹後 浩一

電話番号（0824）63-4121（代表）

《参考》

1. 麻志トンネルについて

麻志トンネルは、三次河川国道事務所が建設を行っている12本のトンネルの中で3番目に長く、その延長は1,329mに及びます。平成21年6月に掘削に着手し、9月29日に貫通することとなりました。

本トンネルは、火薬を使う発破工法で掘りました。トンネルを掘った直後は現地プラントで練ったコンクリートを掘削面に吹付け、さらに円周方向にロックボルト(長さ3.0~4.0mの鉄筋)を打ち込むことで地山が崩れなくするという方法を採用しています。これは、NATM工法と呼ばれ、現在は標準工法として一般に広くトンネル工事で採用されているものです。

また、発破後のトンネル破碎岩は盛土を行う工区にダンプで運搬し、本線の盛土として活用しています。

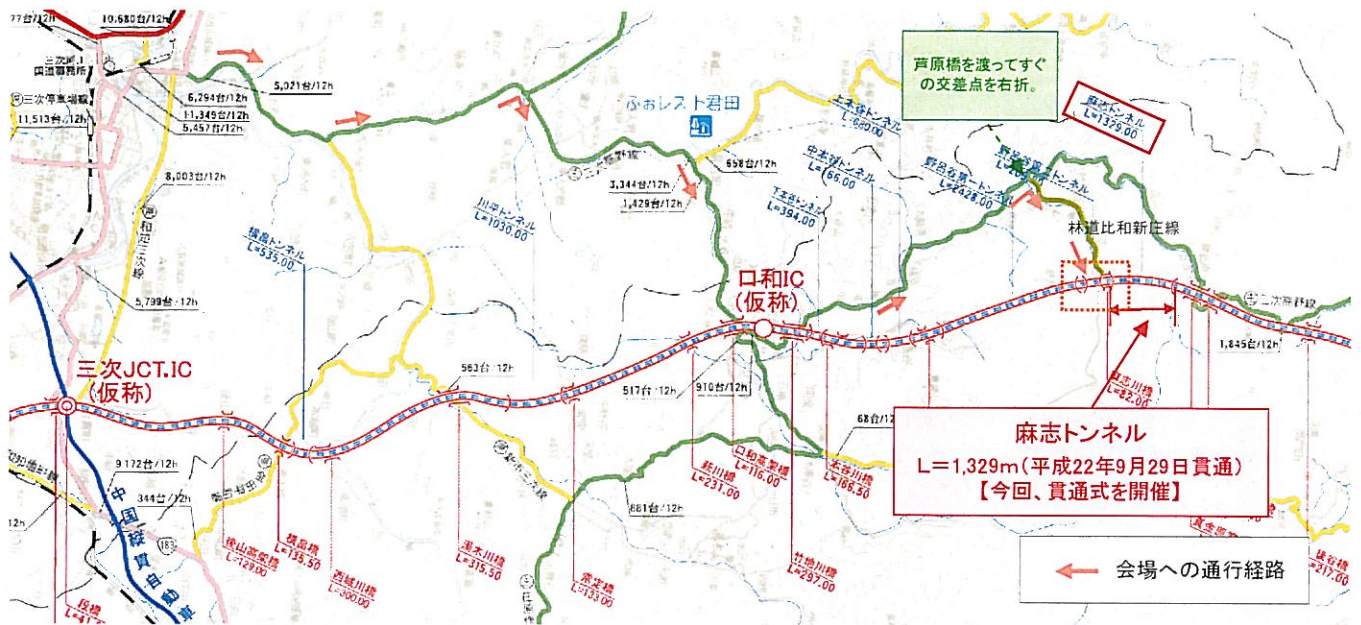
※構造物の名称は仮称です。

2. 当日のスケジュール

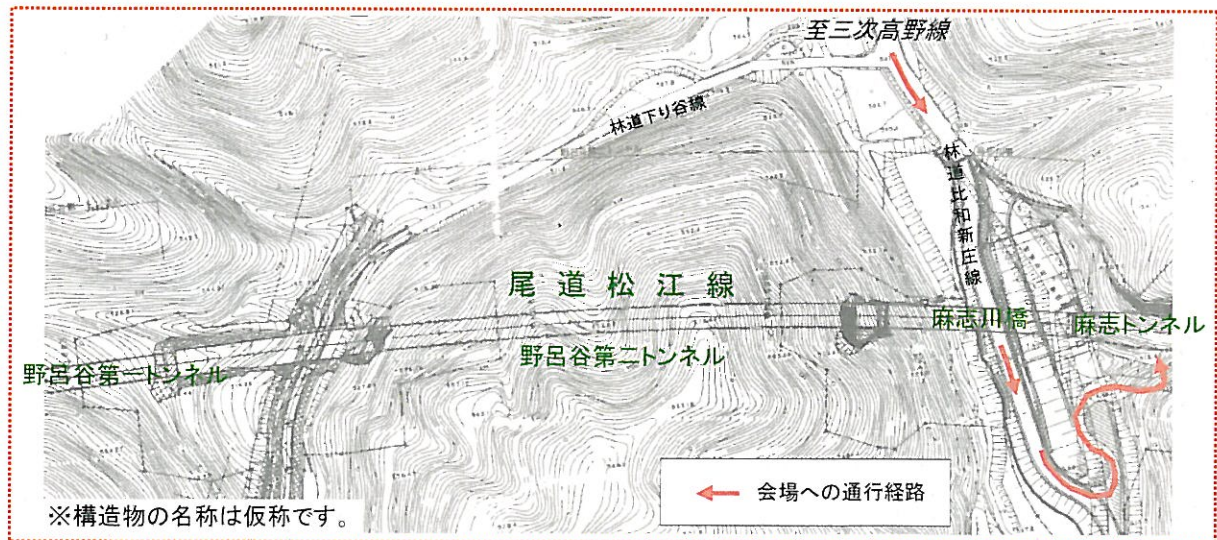
受 付 10:30~ 式 典 11:00~12:00

(式典では、開式の後、貫通発破の作業等が行われます。)

1. 位置図



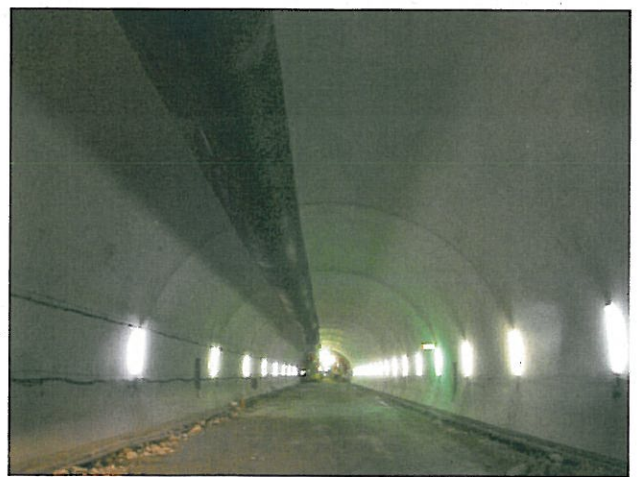
〔 会場附近の詳細 〕



2. トンネル内の状況



掘削中の先端部分



コンクリート覆工済の部分

※ともに平成22年9月16日撮影